



▲相川さんが見事釣り上げたのは27センチの大型



▲25センチ級のうれしい1枚



船中1枚目は25センチ級



この日のトップは11枚のカワハギを釣り上げた鎌倉市の杉本英人さん



釣れ上がったカワハギに思わず笑みがこぼれる



▲最終楽しそうだった幹事の天谷幸治さんは肝パンをゲット



亀城根周辺のカワハギは今後も期待度◎

仲間と仕立船で沖釣りホリデー!

ツリトモさん 釣友 いらっしや〜い!

Charter boat fishing to enjoy with friends.

vol.9 DONORIMARU

●撮影・文/古河好夫



第9回のツリトモ

●取材でお邪魔させていただいたのは、東京都世田谷区の日谷幸治さんが勤める会社の釣りサークルの皆さん。釣り物はカワハギです。

の状況をうかがうと、数はさほどのびないもののサイズは20〜25センチ級の良型が多いとのこと。開始後は前日のシケが影響しているのか、ベラなどの外道は上がるものの本命はなかなか顔を見せない。

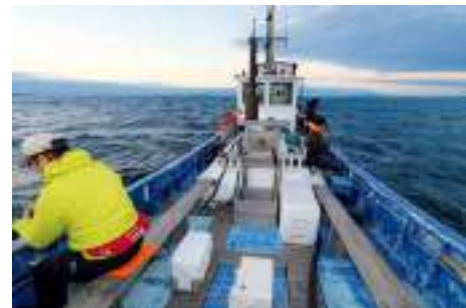
船中1枚目のカワハギが取り込まれたのは開始から1時間ほどたつてから。25センチ級の肝パンで見るとおもしろい。それからはポツポツと上がるようになり2人同時に釣り上げる場面も。カワハギ釣りにおいては珍しいイサギが上がったりして徐々に盛り上がってきた。

中盤戦はやや中だるみしたものの、時折本命が顔をみせるのでだれも手を止めない。後半戦になるとカワハギの食いが上向き着々と数をのばす人も。釣れるのは20〜25センチ級が中心で数より型という向きにはなんともうれしい状況だ。

そんな中これまで苦戦していた足立区の相川源太さんに待望のヒット、竿がカンカンたたかれる。慎重に巻き上げて取り込んだカワハギは後計量27センチで釣り上げた本人は、「朝から外道ばかりだったんで超うれしいです。大好きな肝パン酢でいただきます!」と喜んで満面の笑みを浮かべた。

終了間際、幹事の天谷幸治さんに当日の感想などをうかがってみました。「道乗丸は初めての利用でしたが、船長が優しいうえに大きなカワハギを釣らせてくれて皆楽しめたようです。普段から初心者でも楽しめる釣りをメインにやっているのですが、その点カワハギはピッタリですね。食べやすい。今日は私自身も十分に楽しめました。また利用したいです」とのお言葉をいただきました。ちなみに大会結果は大物賞が前出の相川源太さん。数の部門では11枚を釣り上げた鎌倉市の杉本英人さん。良型中心に楽しめる亀城根周辺のカワハギ。この冬のおすすです。

当日の釣りは亀城根周辺の水深30メートル前後



▲当日の釣りは亀城根周辺の水深30メートル前後



▲天谷さんの集寄り超ド派手



▲オモリは25号と30号を用意。エサはアサリを使用する

三浦半島長井荒崎港 カワハギ

カワハギのアベレージは20〜25センチ



良型中心に釣れる 亀城根周辺のカワハギ

今回の「仲間と仕立船で沖釣りホリデー! ツリトモさんいらっしや〜い」は、東京都世田谷区の日谷幸治さんが勤める会社の釣りサークルの皆さんがカワハギで仕立てた三浦半島長井荒崎港の道乗丸にお邪魔させていただきました。

釣行日は11月25日。当日はサークルの釣り大会ということで皆さん朝からなんとも楽しげな雰囲気。6時に出船となり船は亀城根周辺へ向かう。約20分ほど走ったところで釣り場に到着。水深30メートル前後で開始となる。 竹内正船長に今期のカワハギ

ツリジョーさん いらしゃいよ!

from Captain

12月中旬以降はカワハギ、アオリイカ、アマダイ、オニカサゴあたりがおすすめです。カワハギは型がよく肝がパンパンに入っているの食味は最高です。アオリイカはすでに1キロ級が上がっているの今後が楽しみです。アマダイ&オニカサゴのリレーなんかもおもしろいと思います。



▲竹内 正船長

料金プラン

■カワハギやアオリイカなど近場の釣り物は5名まで4万2500円。一人増し8500円。アマダイやオニカサゴ、タイ五目などは5名まで4万5000円。一人増し9000円。キハダやカツオは電話にて確認。最大で10名までが釣りやすい。下船後に船宿にて精算。

利用ガイド

【予約方法】
電話にて日程、人数、希望の釣り物などを伝えて日取りを確認

【出船時間】
5～12時（季節によって変動あり）。
沖揚がりまで最大7時間

【エサ、氷、仕掛けなど】
氷、エサ、仕掛けはすべて別料金

【レンタルタックル】
手巻きのセットは1000円（ティップランエギング用は2000円。3セットあり）
電動のセットは2000円

【集合場所】
長井荒崎港に集合。車は船着き場に隣接する駐車スペースに停める

【船宿アクセス】
横浜横須賀道路・衣笠ICより三浦縦貫道路を経由し林IC下車。荒崎港へ



▲12月中旬以降もカワハギ釣りにおすすめ。今後は水温の低下とともに群れが深場に固まり、数、型ともに楽しめるようになる

三浦半島長井荒崎港 道乗丸

DONORIMARU
*Nagai-Arasaki Port, Miura Peninsula
☎046-856-1760 090-3406-2353
(詳細は巻末の情報欄参照)

三浦半島の長井荒崎港から出船する道乗丸は、長井沖を中心にアオリイカやカワハギ、アマダイなどの人気ターゲットを心ゆくまで楽しませてくれる船宿。代々漁師を生業としてきた同船が仕立専門の船宿を開業したのは今から20年以上前のこと。現在は根っからの釣り好きで経験豊富な竹内正船長(50歳)が舵を握る。

竹内正船長は穏和人柄で、実に親切。釣り方なども優しくアドバイスしてくれるのでビギナーも心配は無し。帰りに三浦野菜などのお土産を持たせてくれるのもうれしい。ほとんどの釣り物がリレー可能で土日祝日も5名から仕立てられるから、少人数グループにもおすすめです。



▲手入りの行き届いたレンタルタックルが1000円で借りられる



▲下船後に三浦野菜のお土産をおかみさんが持たせてくれる



船は11トン。最大で10名までが釣りやすい

釣り物	釣期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アオリイカ													
アマダイ													
マダイ五目													
カワハギ													
オニカサゴ													
マルイカ													
ワラサ													
シイラ、カツオ													
キハダ													



良型のカワハギを抜き上げる瞬間は興奮モノ



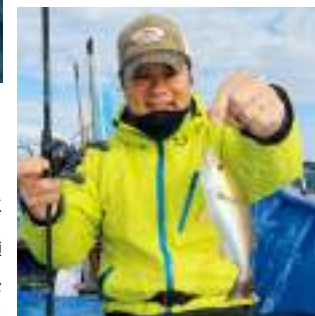
2人同時にヒットする場面も



ウマツラハギも上がった



▲カサゴも顔を見せた



▲珍しいイサキが上がった

釣って楽しく食べておいしい冬のカワハギ釣り

多彩な釣り物が楽しめる 長井・城ヶ島沖

さて12月中旬以降のおすすめを竹内船長にうかがうと、アオリイカ、カワハギ、アマダイ、オニカサゴ、ハタ類とのこと。いずれもリレー釣りが可能なので欲張り派も満足できるはず。アオリイカは中オモリの餌木シャクリのほか人気のティップランエギングも受け付けていて、最近ではティップランでの出船が多いという。

アオリイカの釣り場は亀城根周辺の水深15〜30メートル。目下のところ0.3〜1キロ級が順調に上がっていてトップ5杯なんていう日も。アオリイカは翌年の初夏までロングランで楽しめるターゲット。春以降は2キロクラスの大型も期待できる。

竹内船長は大のティップランエギング好きなので、分からないことがあったらどんなに聞いてみるというだろう。

カワハギは亀城根周辺の水深20〜50メートルが釣り場。今期の傾向としては数は出ないものの型がよく20〜25センチ級主体に30センチ級も上がっている。今後は水温の低下とともにカワハギの群れが徐々に深場に固

まるようになり、群れに当たると数、型ともに抜群の釣趣を堪能できる。

アマダイは長井沖や城ヶ島沖の水深60〜120メートルが釣り場。30センチ級主体に楽しめ40センチオーバーが交じる日も珍しくないという。

オニカサゴは長井沖や城ヶ島沖の水深100メートル前後を探る。60グラム級中心に日によっては1キロ級も上がるそう、アマダイとのリレーで楽しむ人も多いという。

ソフトルアーで狙うロックフイッシュゲームも人気を集め20〜30センチ級のカサゴのほか20〜40センチ級のアカハタやオオモンハタが上がるそう。

またスーパーライトジギング(以下SLJ)やソフトルアーで狙うハタ類も受け付けていてSLJではイナダやカンパチな

どの青物のほかオオモンハタやアカハタがターゲット。冬場は良型のサワラが上がることもあるという。

そのほかマダイ五目は周年楽しめるマダイは1〜2キロ級が中心。イナダやアジ、サバなども交じりクレーラーの中にはぎやかになるそう。

道乗丸が得意とする長井・城ヶ島沖はこの時期も釣り物が実に多彩。仲間や家族を誘って冬のはいかがだろう。



▲足立区の相川源太さんにヒット! 竿先がたたかれる

